

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成18年8月31日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

●需要面…個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(6月)

新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(7月)

●産業面…一部で回復の動きが見られるが、おおむね横ばいである。

鉱工業生産指数が一般機械工業等の減により前月を下回った。(6月)

●雇用面…持ち直しの動きが緩やかになっている。

現金給与総額は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年を下回った。(6月)

求人倍率は、新規、有効とも前月を上回った。(7月)

○需要面の動き

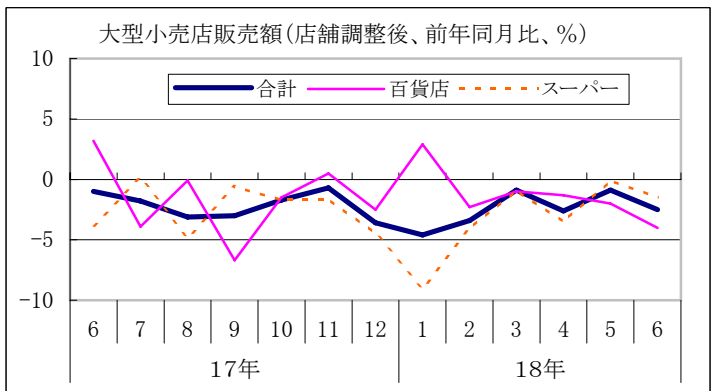
大型小売店販売額(6月)

全店舗の販売額は、52億8,404万円(前年同月比5.0%減)と11か月続いて前年を下回り、店舗調整後も45か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	528,404	▲5.0 (▲2.5)
百貨店	202,776	▲4.0 (▲4.0)
スーパー	325,628	▲5.6 (▲1.5)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(6月)

30億5,783万円(前年同月比4.5%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(7月)

1,987台(前年同月比0.1%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

これは、小型車が大幅に減少(前年同月比10.8%減)したことによる。

新設住宅着工戸数(7月)

485戸(前年同月比58.0%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、分譲住宅の増加(前年同月比494.7%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(7月)

14億5,179万円(前年同月比41.9%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比87.0%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(7月)

120億1,000万円(前年同月比51.2%増)と3か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、独立行政法人等の増(前年同月比371.1%増)が大きな割合を占めた。

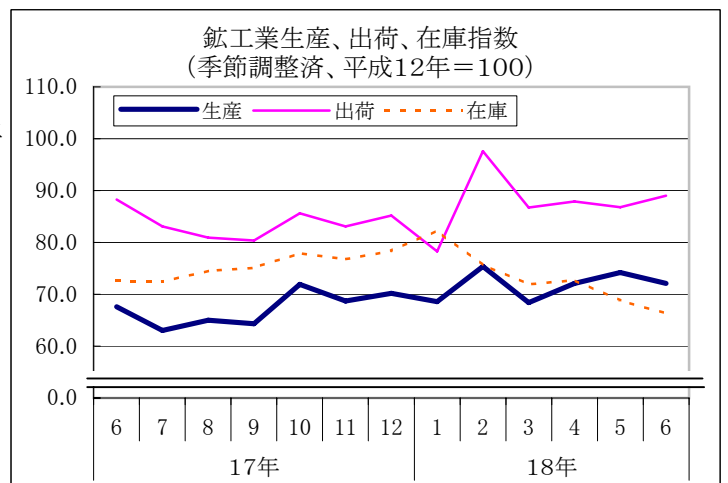
○産業面の動き

鉱工業指数(6月)

生産指数(季節調整済)が72.1となり、前月比は2.8%低下し、原指数では70.9となり、前年同月比で6.6%上昇した。

内訳を前月比でみると、電気機械が通信機械器具等の生産減により5.0%低下、食料品・たばこが9.9%上昇、一般機械が46.2%低下、繊維が3.0%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は66.3と前月比3.6%低下した。



大口需要電力実績(6月)

145,269千kwh(前年同月比2.7%増)と2か月続いて前年を上回り、鉱工業は全ての業種で増となり4.8%増加した。

青果物卸売量(7月、鳥取市場)

野菜が1,184t(前年同月比17.5%減)と9か月続いて前年を下回り、果実も1,280t(前年同月比0.1%減)と2か月続いて前年を下回った。

漁獲量(7月、境港)

3,970t(前年同月比29.6%減)と2か月続いて前年を下回った。

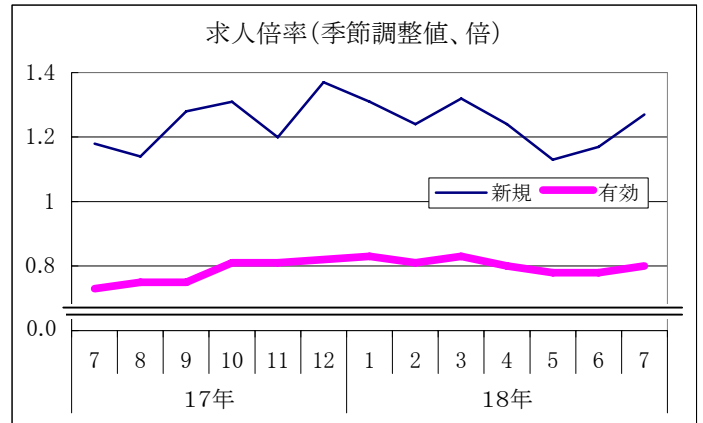
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(7月)

1.27倍(前月差0.10ポイント上昇、前年同月差0.09ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,164人で前年同月比2.1%の増であった。

有効求人倍率(7月)

0.80倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.07ポイント上昇)と8年5か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(6月)

472,160円(前年同月比4.5%増)と5か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,564円で前年と同水準であった。

所定外労働時間(6月)

8.4時間(前年同月比6.6%減)と3か月ぶりに前年を下回った。主力の製造業は13.7%減となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比190.3%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比47.4%減)等で前年を下回った。

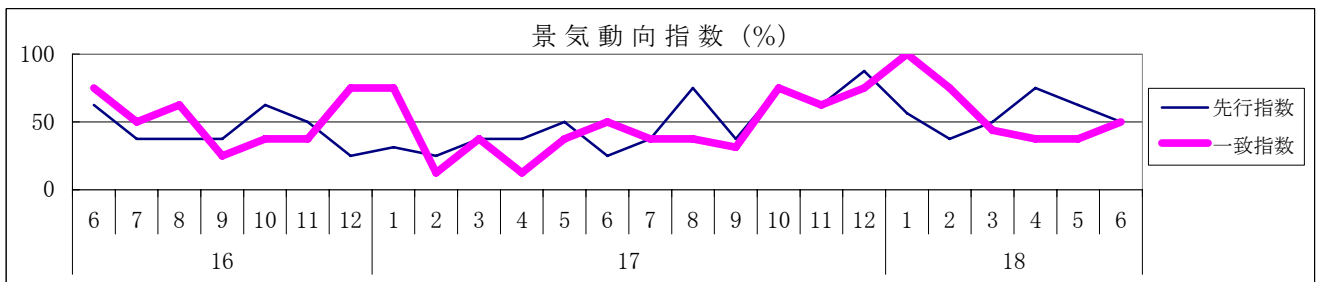
預金・貸出金残高(6月末)

預金残高は、1兆8,699億円(前年同月比1.1%減)と2か月続いて前年を下回り、貸出金残高は、1兆1,618億円(前年同月比1.0%増)と10か月続いて前年を上回った。

○参考

鳥取県景気動向指数(6月)

先行指数50.0%、一致指数50.0%、遅行指数50.0%となった。
先行指数は2か月連続で50%を上回った後、50.0%となった。
一致指数は3か月連続で50%を下回った後、50.0%となった。



企業倒産(7月)

件数は4件(前年同月比100.0%増)で3か月続いて前年を上回り、負債総額は2億4,500万円(前年同月比7.5%減)で5か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(7月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.1となり、前月比(0.8%下落)は5か月ぶりに下落し、前年同月比(0.7%下落)は2か月ぶりに下落した。

鳥取県の推計人口(8月1日現在)

604,475人で、前月と比べて37人(0.01%)減少し、前年同月と比べて2,822人(0.46%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成18年8月調査)

平成18年10～12月期は、平成18年7～9月期に比べると景気、売上高はやや好調であるが、経常利益は同程度の見通しとなっている。